

# SFCシリーズ 施工手順書

## ◆安全に関する重要な内容です。

施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。

施工後は本施工手順書を必ず使用者が保管してください。

※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。

注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。



### 警告



禁止

- ◆製品の分解・改造はしないでください。  
⇒火災・感電・故障の原因となります。
- ◆重いものを落としたり、ぶつけたり等強い衝撃を与えないでください。  
⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。



必ず守る

- ◆結線は所定の方法で、確実にこなしてください。  
⇒焼損・火災・機能不備の原因となります。
- ◆電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」に従い電気工事士資格者がこなしてください。  
⇒火災・感電・故障の原因となります。
- ◆必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。



### 注意



禁止

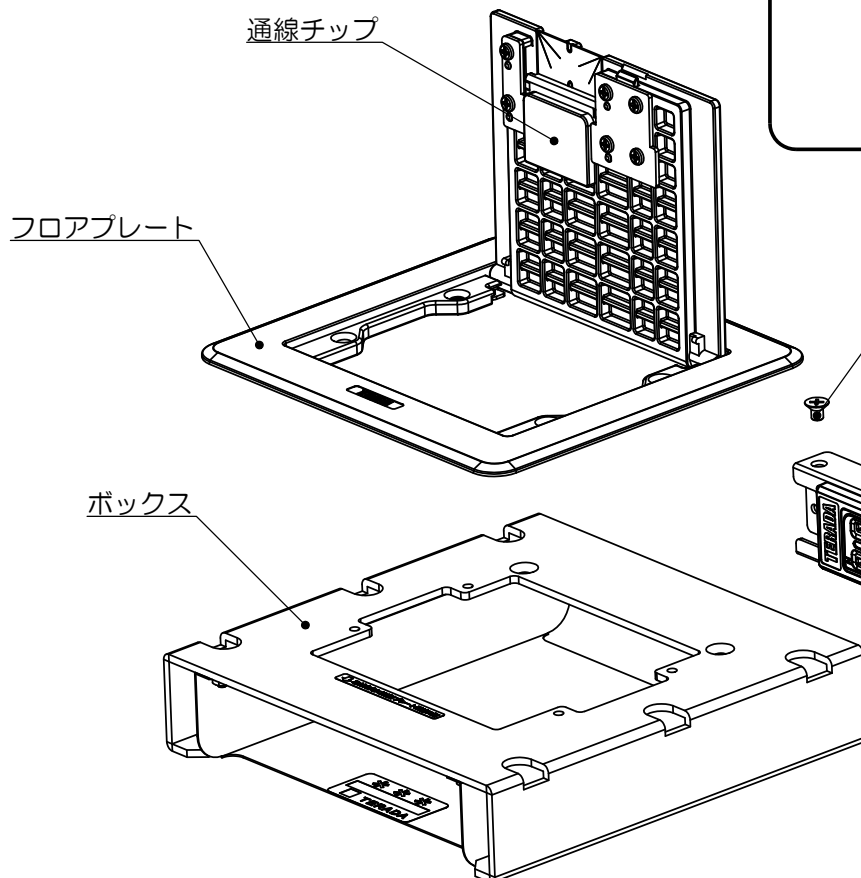
- ◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。  
⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。
- ◆養生テープ等のテープ類を長時間貼り付けたままにしないでください。  
⇒メッキや塗装が剥がれる原因となります。
- ◆通行の障害となる様な場所や机の下等、製品が蹴られる様な場所に施工しないでください。  
⇒製品の破損・故障の原因となります。
- ◆床暖房が施されている床に施工しないでください。  
⇒結露し漏電・感電の原因となります。



必ず守る

- ◆容易に点検できる乾燥した場所に施工してください。  
⇒火災・感電・故障の原因となります。
- ◆床に堅固に取り付けてください。  
⇒電線やケーブルが抜けたり、傷つく原因となります。

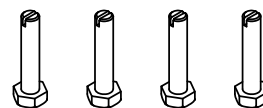
## ◆部品構成と名称



### 添付品

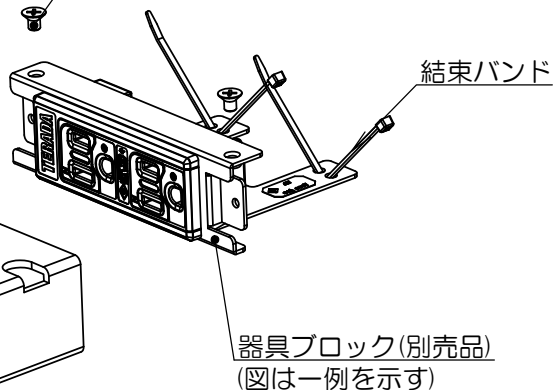


フロアプレート取付用サラネジ(銀色)  
M4 4本



六角支柱 4個

器具ブロック取付用ネジ(黒色)  
サラネジ M4 2本  
(器具ブロック添付品)



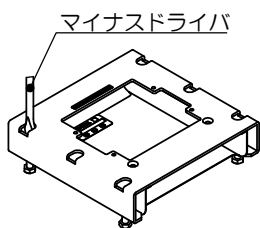
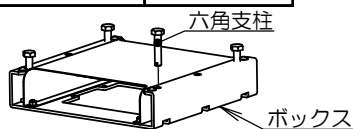
器具ブロック(別売品)  
(図は一例を示す)

# 施工方法

## 1 高さの調節

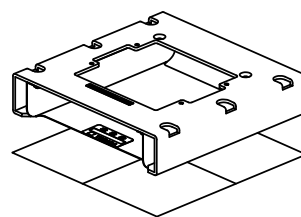
本製品は添付の六角支柱をマイナスドライバで回し、高さ調節ができます。OAフロアの高さに合わせてご使用ください。

六角支柱の有無	高さ(mm)
有り	41~60
無し	37~40



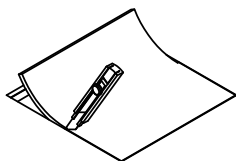
## 2 ボックスの設置

165角のOAフロアを1ブロック取り去り、本スマートコンセントのボックスをセットしてください。取付方向に注意して下さい。



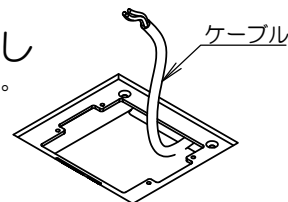
## 3 仕上げ材の開口

床仕上げ材を指定寸法に開口します。開口寸法は118~122×134~138



## 4 ケーブルの引き出し

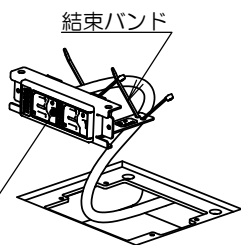
床下からケーブルを引き上げます。



## 5 器具ブロックの配線

ケーブルを配線器具に接続してください。配線方法については各コネクタの配線方法に従って行ってください。電源付の機種はアースネジに必ずアース線を接続してください。

器具ブロック(一例)

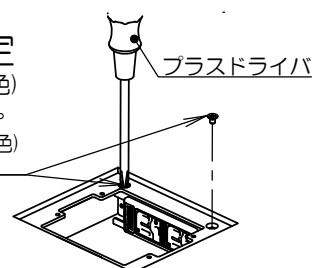


※ケーブルは張力が掛からないよう結束バンドで固定してください。

## 6 器具ブロックの固定

器具ブロックを添付のサラネジ(黒色)2本でボックスに固定してください。

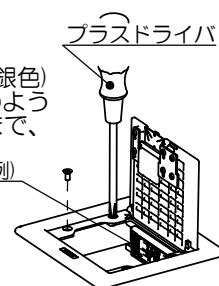
器具ブロック取付用ネジ(黒色)  
サラネジ M4 2本  
(器具ブロック添付品)



## 7 フロアプレートの固定

フロアプレートを添付の取付用サラネジ(銀色)4本で固定してください。向きは必ず図のようにしてください。フタを「パチン」と鳴るまで、完全に閉じてください。

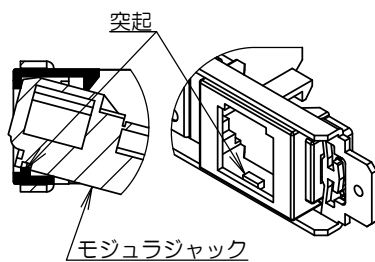
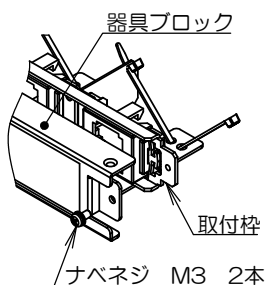
器具ブロック(一例)



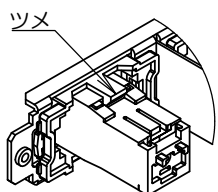
## モジュラジャックの配線について

モジュラジャックを器具ブロックへ取り付ける際は、下図のように固定してください。

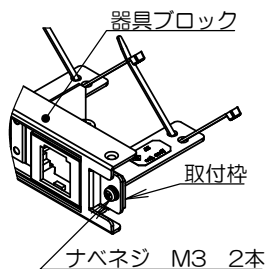
1. 器具ブロックから取付枠をはずす。
2. モジュラジャックを傾け樹脂枠の突起にはめる。



3. ツメで固定する。

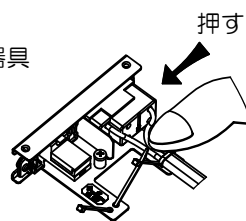


4. 取付枠を器具ブロックに取り付ける。

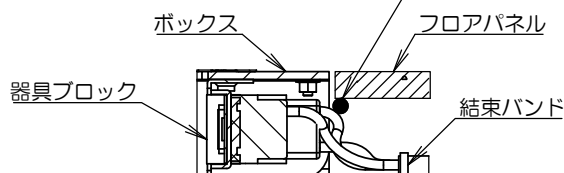


## 器具ブロックのケーブル処理について

開口部端面にケーブルが接触しない様、ケーブルを曲げてください。その後、結束バンドでケーブルを保持し器具ブロックをボックスに固定してください。器具ブロックをボックスに収める際に引っかかりを感じたら無理に押し込む事はしないでください。ケーブルの断線、地絡の原因になります。



ケーブルと開口部端面が接触しない様にする



## ■ お問い合わせ先

# 株式会社TERADA

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361